



作神様も喜ぶ

絆の唄声――



# 久道 茂 氏

## 涌谷町名誉町民推戴式を挙



10月23日(火)に、涌谷公民館において、東北大学名誉教授であり、公益財団法人宮城県対がん協会の会長を務める久道茂氏の涌谷町名誉町民推戴式を挙行しました。

涌谷町名誉町民とは、政治、経済、学術、技芸その他町の文化の進展に寄与し、その事績が極めて大きく町民の尊敬を受けている本町に縁の深い人物に対して、推挙しその事績をたたえるもので、推戴状および誉町民章を贈り顕彰するものです。

式典には、宮城県議会議員佐々木功悦氏をはじめとし、涌谷町と友好協定を結ぶ山形県大石田町副町長横山利一氏や宮城県北地区自治体の首長・議長、涌谷町議会議員など30人の来賓と約100人の涌谷町内の企業・団体などの一般参加者が大勢列席。久道茂氏の涌谷町名誉町民への推戴を共に祝いました。

涌谷町の名誉町民は、安部卓爾氏を一人目としてこれまで7人が推戴され、久道茂氏は8人目となります。前回は平成28年7月に推戴し、平成29年11月に逝去された故大橋庄治氏です。

今回の推戴にあたり、8月10日(金)に、涌谷町名誉町民推戴委員会が開かれ、大橋信夫町長からの諮問を受け、審議された結果、推挙すべきと答申されました。

その後、9月7日(金)の涌谷町議会9月会議に提案され、議員全員の賛成をもって涌谷町名誉町民への推挙が議決されました。

大橋町長の式辞では、旧厚生省の研究班のトップとして各種がん検診に関する世界中の研究論文を詳細に検討し、平成10年にまとめた科学的根拠に基づいての検診の有効性を明らかにした報告書が、現在のがん検診の明確な指針となっており、国の法律の策定の礎になっていることをはじめとして、さまざまな功績が紹介され、推戴状と名誉町民章、記念品が贈呈されました。推戴式後に行われた記念講演では、「健康・寿命・がん予防」のテーマで、「茂堂久」のペンネームで小説を執筆する久道氏らしく「がんになるための10カ条」といった逆説的な表現でがん予防を呼びかけ、列席者の笑いを誘っていました。



久道 茂氏  
名誉町民推挙事由(一部)

氏は、昭和56年東北大学医学部教授に就任、その後、医学部長時代に厚生省（現厚生労働省）の研究班のトップとして、各種がんの検診に関する世界中の研究論文を詳細に検討した。平成10年にまとめたその報告書は、科学的根拠に基づいての検診の有効性を明らかにし、今日のがん検診の明確な指針を作った。

また、国および地方の公衆衛生行政における活動に尽力し、生活習慣病全般に関する厚生労働省の各種委員会の委員として、国の重要な意思決定に参画した。

宮城県においては、平成14年から宮城県病院事業管理者および宮城県がんセンター総長を務め、医療向上に役立てる宮城県の地域がん登録を利用した大規模疫学研究を進め、平成19年からは、第5代宮城県対がん協会会長として、啓発から事後管理まで一貫した検診体系で行われる質の高い「宮城方式」を基本としてがん検診を実施する民間におけるがん征圧推進団体の長として、がんの予防と検診の普及に大きく貢献した。



【名誉町民推戴式的一幕】

- ①大橋町長から緊張した面持ちで推戴状を受け取る久道茂氏
- ②推戴式後の講演会では、厳かさを演出していたモーニングを着替え、ミステリー小説も執筆される作家としてのユーモアも交えた軽妙な語り口で、会場を笑いの渦で包み込みながら「がん予防」について啓発しました



友好交流の町・大石田町から出場し手にした栄冠

# 秋の山唄

11月10日(土)11日(日)の2日間、第34回秋の山唄全国大会が行われ、少年少女の部21人、寿年の部52人、一般の部71人が、北は北海道、南は岡山県と全国各地から出場。

晩秋の涌谷町で自慢の唄声を披露し競い合いました。

## 第34回大会の一般の部で

優勝したのは、友好交流協定を締結している山形県大石田町の木村里美さん。

木村さんは、協定締結の翌年第30回大会から出場し、第31回大会で準優勝され、今回晴れて笹峯寺杯の栄冠を手

しました。

「まさか優勝できるとは。これも今まで一緒に取り組んできてくれた父、そして、応援に来てくれた親戚からの励ましのおかげ」と家族への感謝を涙ながらに語りました。なお、今大会から優勝者を

秋の山唄PR大使として任命し、全国に秋の山唄を広めていただくこととしました。準優勝には山形県上山市から出場された齋藤里奈さんが、第3位には角田市から出場された渡辺千恵美さんが見事な唄声で入賞されました。



一般の部に先立ち、秋の山唄全国大会一日目に開催された少年少女の部では、東京都中野区から出場された江端菜沙さんが初出場にして優勝。江端さんは、平成30年8月に開催された公益財団法人日本民謡協会が主催する民謡舞少年少女全国大会の4・5・6年生の部で日本一の栄冠を手に入れている実力者。「初めての出場場で優勝できるなんて、とても嬉しかったです」と少女らしい笑顔を見せていました。

市から出場された飯澤幸子さんが3回目の出場にして優勝されました。飯澤さんも一般財団法人日本郷土民謡協会が主催する今年の郷土民謡舞全国大会で全国7位に入賞された実力者。十数年前に初出場された際には、「秋の山唄」発祥の地の篁峯寺を訪れおまいりされたという思い出も持ちます。



【写真解説】

①優勝した木村里美さん。木村さんのすばらしい唄声が、晩秋の篁峯寺に厳かにこだました ②準優勝の山形県上市から出場された齋藤里奈さん ③第3位の角田市から出場された渡辺千恵美さん ④少年少女の部優勝の江端菜沙さん ⑤寿年の部優勝の飯澤幸子さん ⑥勇壮であり華麗な演奏・演舞を見せてくれた涌谷町の次代の担い手の皆さん ⑦⑧郷土の文化を守るため父・大和優雅氏とともに遠路はるばる出場された龍目ちゃんと央来さん

また、少年少女の部には、涌谷町黄金大使であり、映画監督の大和優雅氏のお子さんの大和龍目ちゃんと大和央来さんが出場し、愛好家の高齢化と減少が進む日本の伝統芸能である民謡文化を後押し。

アトラクションでは、涌谷町の伝統芸能である篁岳白山豊年踊りや涌谷太鼓、涌谷お茶屋節踊りが涌谷町の次代を担う子どもたちを中心に演舞が披露され、さらに、涌谷新星レクダンスや嵯峨舞芸会、生田流箏曲繡園会といった涌谷町内で活動する文化芸能団体の皆さんによる演舞・演奏によって秋の山唄全国大会に花が添えられました。



## 29年度決算のポイント

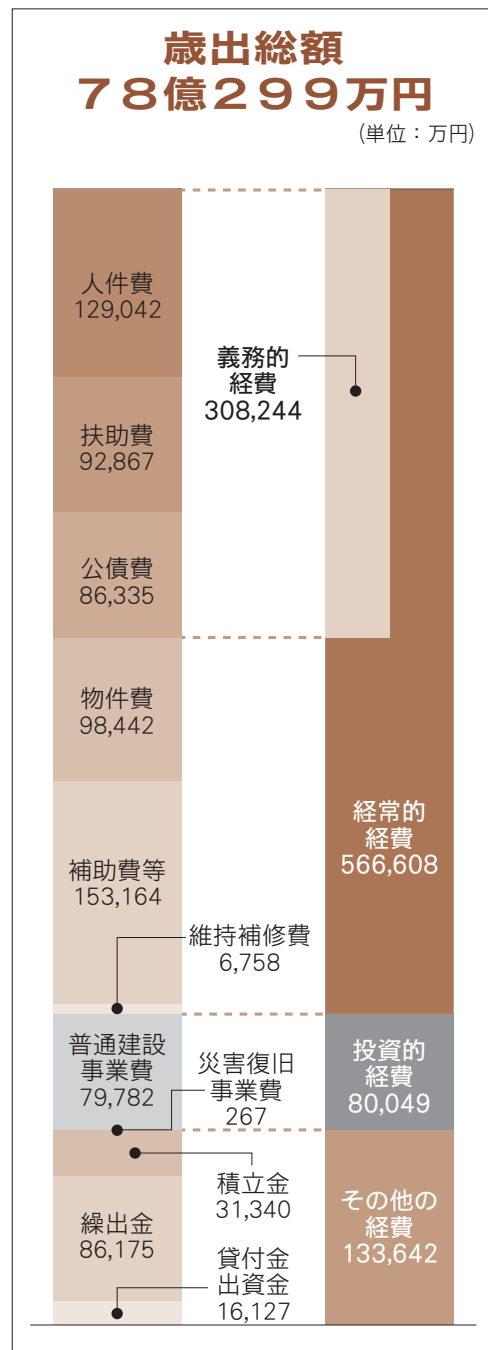
●歳入総額では、経済政策の恩恵などから町税では増額となったものの、地方交付税、国庫支出金、基金繰入金や地方債などの減額により前年対比2億5,206万円（3.1%）の減額となりました。

●歳出総額では、物件費は公共施設の除却経費の増加、公債費（借入償還）は黄金山工業団地用地売却分について繰上げ償還を行ったことなどにより増加、28年度から繰越した生栄巻大橋改修事業や黄金山工業団地整備事業などにより、前年対比2億3,790万円（3.1%）の増額となりました。

支 出		28年度との比較
生活費合計	303万円	(+14万円)
食費	81万円	(+3万円)
医療費	59万円	(+2万円)
光熱水費、消耗品	62万円	(+3万円)
車等の修理代	4万円	(+1万円)
その他の生活費	97万円	(+5万円)
子ども等への仕送り	64万円	(+2万円)
ローンの返済	54万円	(+3万円)
家の改修、車購入費	50万円	(+11万円)
貯金	20万円	(-1万円)
支出合計	491万円	(+29万円)
余り(収入-支出)	9万円	(-29万円)
<b>ローン残高</b>	<b>412万円</b>	<b>(+4万円)</b>

※町のローン残高（地方債現在高）は65億4,090万円です。

- ① **人件費**  
町職員の給料や議員報酬など
- ② **扶助費**  
障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金
- ③ **物件費**  
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ④ **維持補修費**  
道路、公共施設などの維持費
- ⑤ **補助費等**  
負担金、補助金など
- ⑥ **繰出金**  
下水道事業や国民健康保険など他の会計への繰出金
- ⑦ **公債費**  
町債の元金・利子
- ⑧ **普通建設事業費**  
道路・学校など公共施設の新設、改修に使ったお金
- ⑧ **災害復旧事業費**  
地震や大雨などの災害にあった施設等の復旧に要したお金
- ⑨ **積立金**  
将来の財源変動に備えて積み立てたお金



## 29年度はこんな仕事をしました

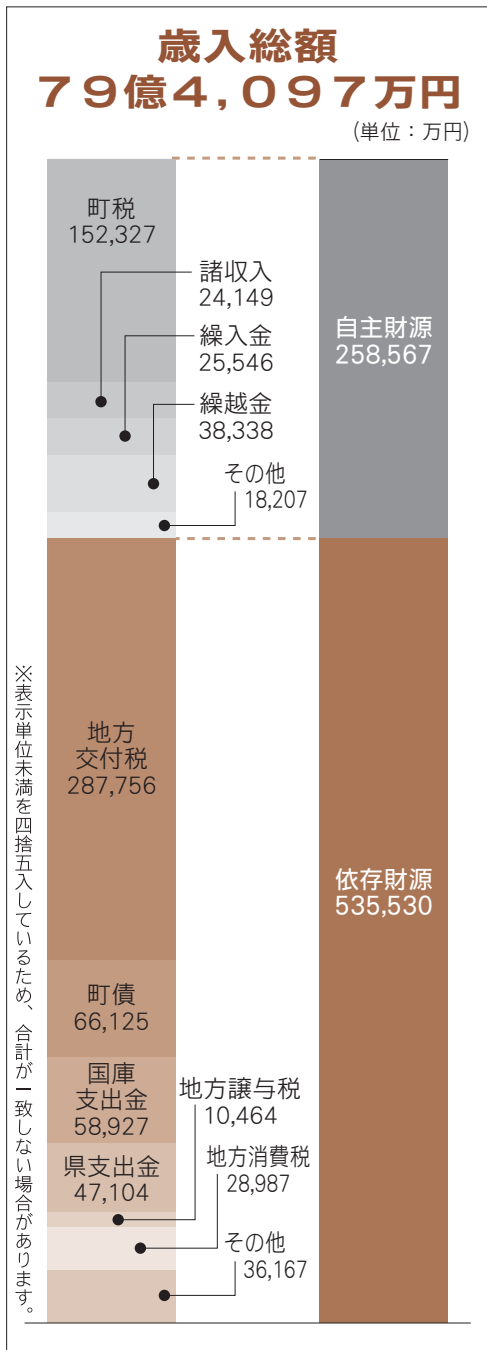
- 企業誘致用町有地整備事業および企業誘致推進
- 生栄巻大橋改修事業の完成
- 子ども医療費助成を拡充するなど、子育てしやすい町づくりを推進
- 「地域おこし協力隊」を1人増員し、2人で「食」「観光」にまつわる新たな視点での町づくりを推進
- 「歯の健康」から健康寿命の延伸を図る活動や、町内事業所へ出向いての健康教室の実施など、働き世代の健康づくりを推進

- 石巻赤十字病院救命救急センターの運営に参画するなど、平日夜間および休日の医療体制や高次救急体制の充実を図る
- 県営ほ場整備事業（出来川左岸地区）の推進
- 銘柄米「金のいぶき」の販売促進活動や品質保持の取り組みを実施するなど、地域ブランド米としての確立・定着を推進
- 中学生をアメリカへ派遣し、国際感覚の涵養を図る
- 旧青少年ホームを改修し、誰もが利用しやすい図書室づくりを推進

# 平成29年度

平成29年度の決算を一部修正したのち、11月に開催された議会で、再認定を受けました。大切な税金がどのように使われたのかを1年間の収入500万円の家計に例えてお知らせします。

# 涌谷町決算報告



**町税①**  
町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

**分担金・負担金②**  
保育所や老人ホームに入所する際の負担金など

**使用料・手数料②**  
公共施設の利用料金や住民票の写しの交付手数料など

**譲与税・交付金③**  
国税・県税のうち町に対して交付される分

**地方交付税③**  
国税のうち町に対して交付されるもの

**国庫支出金③**  
使い道が特定される国が町に対して支出したお金

**県支出金③**  
県が町に対して支出したお金

**諸収入④**  
預金利子や雑入など

**町債⑤**  
町が国や銀行から借りたお金

**繰入金⑥**  
町の基金から引き出したお金

**繰越金⑦**  
前年度に残ったお金

収入		28年度との比較
現金収入合計	403万円	(+11万円)
① 給料	96万円	(+4万円)
② パート収入	11万円	(+1万円)
③ 親世帯からの援助	296万円	(+6万円)
④ その他の収入	15万円	(+3万円)
⑤ ローン(借入金)	42万円	(-2万円)
⑥ 預金の取り崩し	16万円	(-10万円)
⑦ 繰越金	24万円	(-2万円)
収入合計	500万円	(±0万円)

**貯金残高** 68万円 (+9万円)

※町の貯金残高(財政調整基金、減債基金)は、10億7,266万円です。

決算の再認定を求めたことにより、決算概要の公表が遅れましたことについて、お詫び申し上げます。

また、再認定にあたっては、公金紛失という重大な事案の不適切な事務処理について、皆様の信頼を損ねる結果となりましたことを重ねて深くお詫び申し上げます。今後、このようなことが起きないように細心の注意を払い行政事務を遂行いたしてまいりますとともに、原因の究明・再発防止策を策定するなど信頼回復に取り組んでまいります。

# 特別会計・企業会計の決算状況

## 企業会計

企業会計	収入	支出
<b>水道事業会計</b>		
〈収益的収支〉	4億5,045万3千円	4億874万2千円
〈資本的収支〉	2,724万5千円	1億4,213万2千円
●給水人口 15,971人 ●年間配水量 1,563,058m <sup>3</sup> ●給水戸数 5,995戸 ●年間有収水量 1,323,321m <sup>3</sup>		
<b>国民健康保険 病院事業会計</b>		
〈収益的収支〉	20億5,754万5千円	21億9,247万9千円
〈資本的収支〉	2億3,787万3千円	2億3,923万9千円
●患者数 入院 35,041人(年間延)(1日平均 96.0人) 外来 52,837人(年間延)(1日平均 216.5人)		
<b>老人保健施設 事業会計</b>		
〈収益的収支〉	4億9,310万8千円	5億1,495万5千円
〈資本的収支〉	—	3,318万円
●入所者数 28,705人(年間延)(1日平均 78.6人) ●通所者数 11,086人(年間延)(1日平均 35.8人)		
<b>訪問看護ステー ション事業会計</b>		
〈収益的収支〉	5,797万3千円	5,911万3千円
〈資本的収支〉	—	—
●訪問看護利用者数 3,349人(年間延)(1日平均11.4人) ●訪問リハ利用者数 3,477人(年間延)(1日平均14.3人)		

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 特別会計

特別会計	歳入	歳出
<b>国民健康保険 特別会計</b>	26億909万1千円	25億2,211万1千円
●被保険者数 4,524人 ●一人当たり費用額 388,515円		
<b>後期高齢者医療 保険特別会計</b>	1億6,792万9千円	1億6,609万7千円
●被保険者数 2,891人 ●一人当たり費用額 758,168円		
<b>介護保険事業 特別会計</b>	18億4,420万2千円	18億1,523万4千円
●被保険者数 5,654人 ●要介護(要支援)認定者数 985人 ●保険給付費 15億9,700万8千円		
<b>宅地造成事業 特別会計</b>	669万4千円	669万4千円
●新下町分譲地完売、会計閉鎖		
<b>公共下水道事 業特別会計</b>	4億7,446万9千円	4億6,012万9千円
●建設事業費 1億2,592万3千円 ※H30.4.1地方公営企業法適用 下水道事業会計へ		
<b>農業集落排水 事業特別会計</b>	1億3,740万2千円	1億2,606万7千円
※H30.4.1地方公営企業法適用 下水道事業会計へ		

## 健全化判断比率等の状況（平成29年度決算）

### ① 健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	12.6 (25.0)	66.3 (350.0)

※( )内は早期健全化基準です。実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字であるため「—」で表示しています。

### ② 資金不足比率

(単位：%)

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
国民健康保険病院事業会計	—	
老人保健施設事業会計	—	
訪問看護ステーション事業会計	—	
公共下水道事業特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	
宅地造成事業特別会計	—	

※資金不足比率は黒字であるため「—」で表示しています。



## 平成29年度末の基金・公有財産の状況

## 基金

基金名	決算年度末現在高
財政調整基金	7億5,861万3千円
減債基金	3億1,404万8千円
震災復興基金	1億1,422万9千円
ふるさと涌谷創生基金	2億3,083万1千円
公営住宅用地取得基金	1,608万7千円
保健福祉基金	880万1千円
農業振興奨励基金	661万2千円
農業高齢者肉用牛貸付基金	9頭
	0円
肉用牛特別導入事業基金	9頭
	394万1千円
ふるさと水と土保全基金	1,128万7千円
歴史文化基金	600万円
土地開発基金	327,774㎡
	3,444万9千円
国保会計財政調整基金	3億7,577万9千円
国保出産費資金貸付事業基金	300万円
介護保険給付基金	6,999万5千円
合計	19億5,367万2千円

## 公有財産（土地および建物）

区分	決算年度末現在高	
	土地(㎡)	建物(㎡)
本庁舎	8,214.35	3,294.87
医療福祉センター	57,098.53	3,430.05
その他の行政機関	消防施設等	4,060.83
	その他の施設	—
公共用財産	学 校	142,913.62
	公 営 住 宅	58,250.32
	公 園	131,518.04
	その他の施設	435,191.17
山 林	947,487.00	—
その他の施設および土地	1,316,472.99	9,645.39
合 計	3,101,206.85	99,288.35

## 平成30年度執行状況

〔H30.9.30 現在〕  
単位：千円

会計名	予算現額 (繰越額を含む)	収入済額		支出済額		
		金額	収入割合	金額	支出割合	
一 般 会 計	7,337,236	3,800,609	51.2%	3,409,147	45.9%	
国民健康保険特別会計	2,204,062	848,132	38.5%	821,990	37.3%	
後期高齢者医療保険特別会計	170,119	52,517	30.9%	51,602	30.3%	
介護保険事業特別会計	1,881,441	744,616	39.6%	743,446	39.5%	
水道事業会計	収益的収入	440,215	212,478	48.3%	—	—
	収益的支出	426,278	—	—	139,832	32.8%
	資本的収入	41,944	1,280	3.1%	—	—
	資本的支出	220,563	—	—	42,826	19.4%
下水道事業会計	収益的収入	575,399	238,769	41.5%	—	—
	収益的支出	518,791	—	—	64,374	12.4%
	資本的収入	166,821	1,294	0.8%	—	—
	資本的支出	357,539	—	—	125,814	35.2%
国民健康保険 病院事業会計	収益的収入	2,094,692	943,288	45.0%	—	—
	収益的支出	2,175,661	—	—	884,284	40.6%
	資本的収入	176,649	105,949	60.0%	—	—
	資本的支出	253,900	—	—	96,406	38.0%
老人保健施設 事業会計	収益的収入	512,933	249,284	48.6%	—	—
	収益的支出	510,769	—	—	215,375	42.2%
	資本的収入	18,329	18,329	100.0%	—	—
	資本的支出	27,643	—	—	13,604	49.2%
訪問看護 ステーション 事業会計	収益的収入	66,183	29,065	43.9%	—	—
	収益的支出	64,395	—	—	26,345	40.9%
	資本的収入	—	—	—	—	—
	資本的支出	4,203	—	—	2,806	66.8%

この報告は「涌谷町財政事情書の作成及び公表に関する条例」により公表するものです。

▶問い合わせ先 企画財政課財政班 ☎43-2112・E-mail: gr-zaimu@town.wakuya.miyagi.jp



多年にわたる各分野における功績をたたえて

## 秋の叙勲・秋の褒章・宮城県文化の日表彰を受章（賞）されました



地方自治功勞  
旭日双光章  
阿部 忠捷 氏

涌谷町議会議員として5期20年のながきにわたり在籍し、平成16年1月から平成19年12月まで議会議長として議会運営に尽力された功績により受章。



味噌製造工・卓越技能  
黄綬褒章  
川名 譲治 氏

1909年創業の川敬醸造の5代目として、味噌醸造におけるフォークリフトでの天地返しによる業務効率化をはじめ、醸造業界の発展に寄与した功績により受章。



地方自治功勞  
宮城県文化の日表彰  
大泉 治 氏

涌谷町議会議員として多年にわたる議員活動による地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力された功績により受賞。



消防功勞  
宮城県文化の日表彰  
関谷 良治 氏

多年にわたり消防団員として部下の統率と消防精神の涵養に努め、災害の予防防御に尽力し地域社会の安全に寄与した功績により受賞。



## 多年にわたる教育行政にかかわる功績を表彰 安住功二氏に宮城県教育長表彰

11月2日(金)に、現涌谷町教育委員会委員の安住功二氏が、教育委員会委員として、教育行政の推進に尽力されたとして表彰されました。

安住委員は、平成19年10月に任命されて以来11年にわたり、涌谷町の教育に深い理解と情熱を持って職務にあたり、平成23年10月から平成28年11月まで教育委員長職務代理者を務めました。特に、保護者としての視点で学校教育の振興と教育環境の整備充実に寄与されてまいりました。



## 悲願の全国大会出場 涌谷太鼓が宮城県大会で優勝

10月14日(日)に、大崎市田尻文化センターにおいて、第21回日本太鼓ジュニアコンクール宮城県大会が開催され、宮城県内の5団体6チームが出場しました。

涌谷太鼓は、中学生と高校生を中心に構成されたAチームとこれからの涌谷太鼓を担っていく小学生を中心としたBチームの2チームが出場し、Aチームが優勝の栄冠を手にしました。この優勝によって涌谷太鼓Aチームは、平成31年3月に福島県で開催される全国大会出場を決めました。



## 芸術に彩られた涌谷の秋

### 第42回町民文化祭を開催

11月3日(土)4日(日)の2日間、涌谷公民館において、町民文化祭が開催されました。

会場となった涌谷公民館のロビーやホール内には所狭しと涌谷町内の文化芸術団体・個人の作品をはじめとし、小中学校の児童生徒の作品が展示されたほか、交流ホールのステージでは「箕岳白山豊年踊り」や「お茶屋節踊り」などの郷土芸能や、「コーラス」や「ダンス」などのサークル活動の成果が披露されました。



## これまでも、これからも

### わくや天平の湯が20周年

10月10日(水)に、わくや天平の湯が、平成10年10月10日の開業から20周年を迎えました。この20年間に、約335万人が入浴され、愛されてまいりました。

記念セレモニーでは、オープン前から大勢のお客さんが来場し、祝いのくすだま割りの瞬間に立ち会いました。記念イベントを実施した5日間には、約5千人が入館し、入浴やステージイベント、アトラクション、買い物などで楽しみました。



## 日本初の産金の事績を顕彰

### 第2回百済王敬福を顕彰する会を実施

10月20日(土)に、天平ろまん館と黄金山神社前広場を会場に、涌谷町国際交流協会が第2回百済王敬福を顕彰する会を開催しました。

奈良時代に、涌谷町に産金の技術をもたらしたとされる百済王敬福を、新たに駐仙台大韓民国総領事として着任された朴容民氏とともに顕彰し、涌谷町と大韓民国との絆を確認しました。会に併せて、朴総領事来町記念として、黄金山神社前広場にムクゲを植樹しました。



## 今年の「新米」はいかがですか？

### 仙台駅東口で涌谷町産新米の試食会

10月20日(土)21日(日)に、仙台駅東口のEKITUZUにおいて、平成30年涌谷町産新米の試食会を開催しました。

この新米試食会では、「金のいぶき」を試食提供したほか、平成30年産「プレミアムひとめぼれ」の即売を実施。併せて、イタリアンレストラン「アルヴェル」による「金のいぶき」や涌谷町産の新鮮野菜を使ったイタリアンの提供、わくや産直センター黄金の郷による朝採り野菜の直売が行われ、採れたての秋の実りをお届けしました。



ありがとうの感謝の気持ちを伝える

## さくらんぼこども園で収穫感謝祭

10月17日(水)にさくらんぼこども園において、この時期恒例となっている収穫感謝祭が開催されました。この催しは、秋の実りや自然環境、食べ物の生産者に感謝することを学び、感謝の気持ちを伝えられるようになることを目的としたものです。

招待したお客さんとレクリエーションを楽しみ、3~5歳児が切ったさつまいもなどを使った「さつまいも汁」や新米のおにぎりで食卓を囲み、おいしいひと時を過ごしました。



結構なお点前で

## ののだけ幼稚園がくがね庵でお茶会

10月30日(火)に、ののだけ幼稚園の皆さんが、秋の遠足を兼ねて黄金山神社とくがね庵を訪れました。

黄金山神社では、日本初の産金の歴史を学びながらおまいりし、その後、4・5歳児の皆さんが、くがね庵でお茶会を体験し、日本の文化にふれました。

はじめに、金箔で彩られた「金の茶室」を見学後、教育ボランティアの皆さんが点てた抹茶と和菓子を食べ、大人の味に「おいしい」と感想を述べました。



四季折々の花々で彩られる

## 黄金自治会が天平フラワーロードを植栽

11月4日(日)に、黄金自治会と涌谷高校の生徒の皆さん約80人が集まり、国道346号線を通行するドライバーの目を楽ませるよう、花壇にパンジーなどの色とりどりの花を植え付けました。

また、当日は、花壇周辺の歩道も清掃し、歩行者にとっても清々しい気分で行けるようになりました。

この取り組みについては、今年国土交通省から感謝状が贈られるなど、多方面から評価されているものです。



プロバスケットの精神と技術を学ぶ

## 仙台89ERSのバスケットスクールを体験

10月13日(土)に、バスケットスクール「涌谷WINGS」が、仙台89ERSのスクールの加藤真アカデミーディレクターら2人による講習会を行いました。

加藤アカデミーディレクターは大崎市出身で、国体優勝やbjリーグ時代の秋田ノーザンハピネッツなどでの選手経験を持ちます。基礎を中心に、体力・体幹、そして、頭もきたえる複合的なトレーニングやオフェンスの個人技をみっちり指導していただきました。